

## 大連東芝広播電視系統有限公司 サイトレポート情報

所在地：遼寧省大連市經濟技術開發区工業団地33-17-12号

団地敷地面積：40,000m<sup>2</sup>、当社建家面積：1,989m<sup>2</sup>、団地緑化率10%

設立：2002年10月、従業員：90人（2011年3月現在）

主要製品：デジタル、アナログのテレビ送信機及び関連製品

ISO14001認証取得：2007年6月  
(ISO認証番号：01007E10031ROM)



## ごあいさつ

大連東芝広播電視系統有限公司はデジタル、アナログのテレビ送信機及び関連製品の設計、製造、販売、サービスを通じて、中国並びに世界の放送事業者に喜んでいただける品質、価格、納期、サービスが提供できる競争力のある会社を目指します。当社は、従業員が公平で、明るく且つ充実感を持って働くことが出来、しかも自己実現できる職場作りを目指します。

当社は、地球環境を大切にし、資源の有効活用を図ります。また、法令や社会規範を遵守し、地域との交流をはかり、事業活動を通じて地域社会の発展に貢献します。



環境保全責任者 青木 敏郎

## 2010年度の環境の主な取組み

- ISO14001環境マネジメントシステム  
2007年6月に認証取得、2010年に更新審査合格、2011年に1年次サーベイランス終了、合格。
- 環境保全体制の充実  
法令、条例の遵守。現場管理の強化。
- CO2排出量の削減  
毎月環境会議を開き、2%/年削減計画を確実に実施中。2008年に事務所、2009年は現場への省エネ照明を導入、2010年は節水と省エネ管理強化を実施。
- 廃棄物排出100%コントロール  
リサイクル徹底、有害廃棄物移転処分の徹底。
- 資材取引先に関する環境配慮  
取引先に指導、支援。
- 全員参加、啓発活動の展開  
毎月環境会議により、節水、省エネの啓発活動を全社へ推進。
- 地域との協調  
地域への各種環境行事の参加。

## 製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

1、省エネ設計によるコンパクト型 2、中国ROHS規制対応型



デジタル  
8000シリーズ



デジタル  
3700シリーズ



デジタル  
1000シリーズ



UHF 高効率  
電力増幅器

## 環境コミュニケーションの紹介

- 積極的に環境活動を展開。
- ・所在工業団地が主催する各環境活動へ参加。
  - ・2009年に自社で、公営公園(大黒山)へ出かけ、全員で美化運動を実施、周囲の環境保護に貢献。
  - ・2010年には開発区の緑化のため、従業員全員で植樹実施。

## 2010年4月全社植樹



## 環境方針 大連東芝広播電視系統有限公司 (DTBS)

### 「基本方針」

大連東芝放送システム社(略称DTBS)は、東芝グループスローガン「人と地球の、明日のために」及び環境経営方針に基づき、デジタルテレビ送信機(3700シリーズ)製造、アナログテレビ送信機及び関連製品の設計、製造販売を事業基盤として、ISO14001規格の環境マネジメントシステムを構築し、事業活動、製品、販売、サービスのあらゆる分野において環境に配慮し、環境調和型製品とサービスを社会に提供するとともに、環境負荷の低減に配慮した事業活動を通じて開発区工業団地全体環境及び開発区周辺海域及び生物多様化に貢献します。

### 「行動指針」

1. 環境への取り組みを、公司経営の最重要課題の一つとして位置づけ、(DTBS)環境管理レベルの維持向上と、環境保全活動の継続的な改善及び汚染予防の向上につとめます。
2. 当社が行う事業活動、製品販売・サービスに関する環境側面について、環境影響を評価し、環境負荷低減、汚染の防止などに関する環境目的及び目標を設定し、環境ボランティアプラン(第4次VPE)を推進します。
3. 環境保全に関する法規則・公害防止協定などを遵守することを最低限の責務とする立場に立ち、より厳しい自主基準を設け管理する。
4. 当社の環境経営活動を推進するために、環境関係会社(業務委託会社及び取引会社など)に積極的な指導・支援を継続します。
5. 環境教育に関する教育及び方法活動を実施し、全社員に環境活動の理解と意識向上を図ります。
6. 監査の実施や活動のレビューにより、環境経営の継続的な改善を図ります。

### 「環境調和型製品の提供、サービス及び事業活動における環境負荷の低減」

1. 環境調和型製品の提供
  - 1.1地球資源の有限性を認識し、製品製造プロセスの面から寛容調和型製品の開発・製造及び低公害域などの環境に配慮した作業につとめます。
  - 1.2製品の特定化学物質(欧州RoHS指令対象物質)部分撤廃及び規制化学物質管理を推進します。
2. 事業活動による環境負荷の低減
  - 2.1省エネルギーによりCO2排出量を低減します。
  - 2.2規制化学物質排出量を低減します。
  - 2.3廃棄物総排出量の低減及び廃棄物リサイクルを推進します。
  - 2.4周辺住民に配慮した騒音低減を維持管理します。
  - 2.5廃水の水質管理を継続します。
  - 2.6生活用水の使用量を削減します。

### 「地球内企業として」

- 1.地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて、社会に貢献し、積極的な情報開示とコミュニケーションを推進します。
- 2.環境への取り組み状況や環境情報を、環境報告書などを通じて積極的に公開します。
- 3.環境教育及び環境月間、全体朝礼などを通じて、環境方針を全従業員に理解・徹底させると共に、ホームページ、カタログなどにより、社内外の人々が入手できるよう開示します。



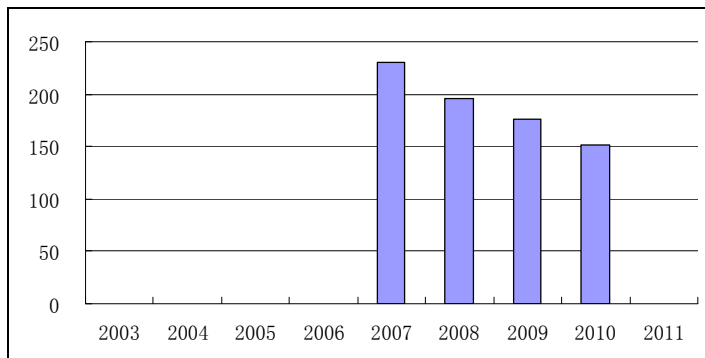
最高管理者

青木 敏郎

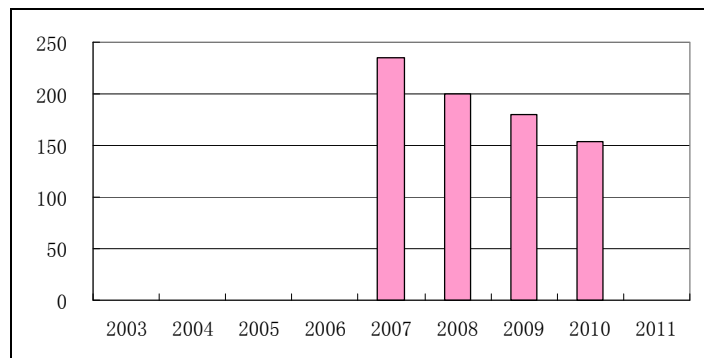
2009年01月01日

環境負荷データ

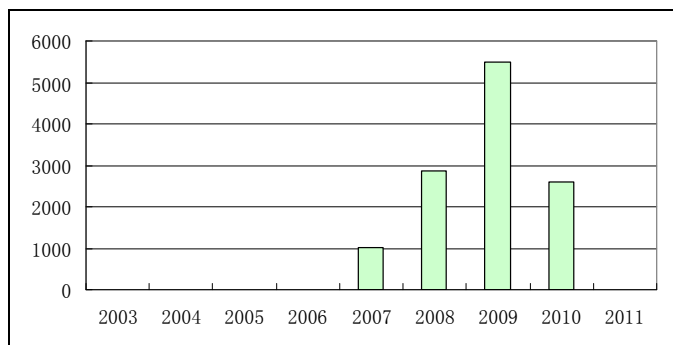
エネルギー使用量(単位:KL)



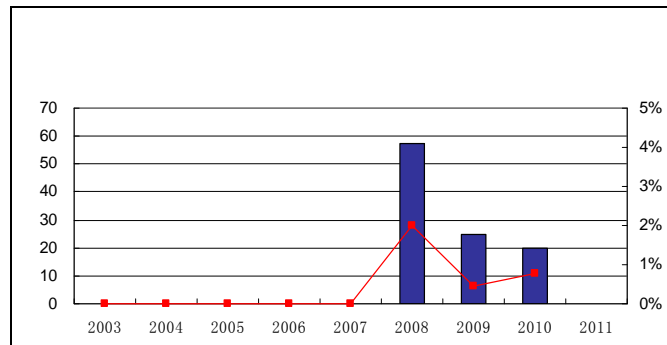
CO2排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:kg)

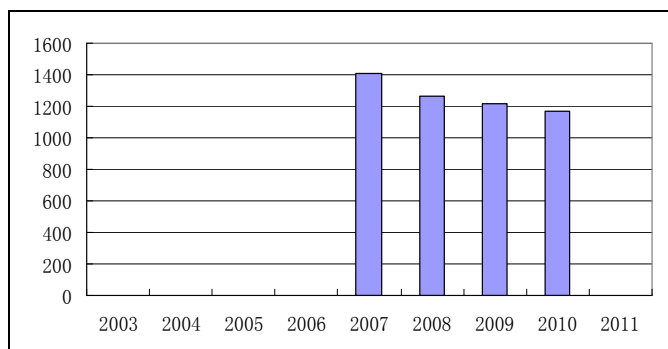


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:kg、%)

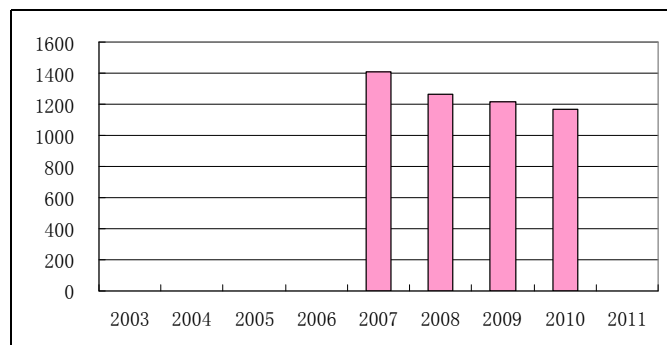


主な廃物名: 発泡材、紙類、ダンボール、電線、アルミ、半田屑(鉛)、基板廃材、金属、ガラス、プラスチック、廃液等

水の使用量(単位:m<sup>3</sup>)



排水量(単位:m<sup>3</sup>)



## 遵法管理状況

### <大気測定結果> 該当施設無し

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	150(対象外)	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	100(対象外)	対象外	対象外	対象外

### <排水測定結果> 二級污水处理場へ放流 (遼寧省污水排出基準DB21/1627-2008)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	6~9 (GB)	対象外	対象外	対象外
BOD5(mg/ℓ)	250 (DB)	対象外	対象外	対象外
CODcr(mg/ℓ)	300 (DB)	300	84	年1回
SS(mg/ℓ)	300 (DB)	対象外	対象外	対象外
窒素(mg/ℓ)	50 (DB)	50	71.7	年1回
フッ素(mg/ℓ)	20(GB)	対象外	対象外	対象外

### <騒音・振動測定結果> 騒音: 小型コンプレッサ(特定施設)、振動: 該当施設無し (中国工業工場相隣騒音標準GB12348-90)

	測定場所: 時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音 (dB)	敷地境界: 昼	65	65	58	3年に1回
	敷地境界: 夜	55	対象外	対象外	対象外
振動 (dB)	敷地境界: 昼	対象外	対象外	対象外	対象外
	敷地境界: 夜	対象外	対象外	対象外	対象外

### <その他測定結果> 該当施設無し

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	600	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	600	対象外	対象外	対象外

### <環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし